■床次竹二郎　　内務官僚，政治家。現職官僚のまま政界入り，以後，覇権狙って政党間遊泳に終始。
とこなみたけじろう
薩長同盟・・1866＝　　鹿児島城下新照院町で，薩摩藩主一門島津久治の御付人として小納戸役を勤めた藩士の長子に生まれる。

明治維新・・1868＝ 2歳：

明治維新後，父は司法官となる。

明治6年政変 1873＝ 7歳：

初の民間工場1875＝ **9歳：**

明治14年政変1881＝15歳：

秩父事件・・1884**＝18歳：**

第一高等中学校を経て，**_帝国大学法科大学政治科に進む。**

山之内一次・伊集院彦吉・原嘉道らが同期生。
帝国憲法発布1889＝23歳：
帝国議会始・1890＝24歳：**_卒業し，大蔵省に入ったが，**

_まもなく内務省に転じ，
郡司千島探検1893**＝27歳：**
日清戦争始・1894＝28歳：

各県を転任後，

東京府内務部長から，
教科書疑獄・1902**＝36歳：**

徳島・秋田各県知事をへて，
日露戦争終・1905＝39歳：
満鉄発足・・1906＝40歳：**_第1次西園寺内閣成立とともに，内務省地方局長に就任。**

_内務大臣原敬の知遇を受け，立憲政友会に接近。郡制廃止問題に努力したが，貴族院の反対で実現せず。

大逆事件判決1911**＝45歳：*第2次西園寺公望内閣の原敬内相のもとで内務次官をつとめ，**
明治天皇没・1912＝46歳：内閣退陣とともに辞任。
大正政変・・1913＝47歳：**_第1次山本内閣組織に際して薩派と立憲政友会の提携に奔走。鉄道院総裁となるや，政友会の意を体して，鉄道幹線広軌化計画の中止と地方路線拡張の方針を打ち出し，入党。現職官僚の入党と話題になる。**
第一次大戦始1914＝48歳：***第1次山本内閣総辞職とともに退任，鹿児島県から衆議院議員の補欠選挙に出馬して当選。連続8回当選。**

立憲政友会の院内総務をつとめ，
本格政党内閣1918＝52歳：**_原内閣成立に際して，内務大臣兼鉄道院総裁として入閣。原首相を補佐して貴族院工作を進め，懸案の郡制廃止・選挙法改正(選挙権拡張と小選挙区制採用)を実現した。また，民力涵養に力を注ぎ，内務省社会局の設置，協調会の創設など社会問題に対処して社会政策の実施にあたった。**
大暴落・・・1920**＝54歳：**
原敬首相暗殺1921＝55歳：原首相が暗殺され高橋内閣が成立すると，内務大臣に留任したが，
水平社結成・1922＝56歳：同内閣退陣により辞任した。
_原の死後立憲政友会では内紛が激しくなったが，床次は党内の改革派に同調して高橋是清総裁らと対立，
護憲三派圧勝1924＝58歳：**_清浦内閣が貴族院勢力を基礎に成立すると，高橋ら護憲派が倒閣を主張したのに対し，同内閣支持を唱え，立憲政友会を脱党した。政友本党の結成に参画し，同党総裁となるが，党勢はふるわず，**
治安維持法・1925＝59歳：**_立憲政友会との提携をはかるも，政本合同の動きに反対。党内に憲政会に接近する動きが進行し，**
金融恐慌・・1927＝61歳：**_憲本合同により立憲民政党が結成された。同党顧問となったが，民政党の対中国不干渉政策に反対して，**
共産党事件・1928＝62歳：**_脱党，田中義一内閣からの政権移行を期待して，第３党の樹立を計画するなど，その動きは政界の焦点の一つとなり，政党政治に混迷をもたらしたが，新党計画も挫折，小会派新党倶楽部を生んだにとどまり，**
世界恐慌・・1929**＝63歳：_政党遍歴5年にして，政友会に復帰。**
満州事変・・1931＝65歳：***犬養内閣の鉄道大臣となったが，**
五一五事件・1932＝66歳：**_<五・一五事件>で犬養毅首相が暗殺された後，後継総裁の座を鈴木喜三郎と争って敗れ，**
帝人疑獄事件1934＝68歳：**_岡田内閣成立にあたり，立憲政友会の反対を押し切って逓信大臣として入閣したため，政友会を除名されるなど，晩年は出処進退が定まらず，政界の不評を買い，**
芥川直木賞始1935＝69歳：***在任中，心臓病により，急逝した。**

「没年日本史人物事典」，平凡社百科事典，